



事業内容 エス・パックス株式会社は、1919(大正8)年に「下園紙器店」として創業し、2019年に100周年を迎えました。段ボール製品や化粧箱・貼箱など印刷紙器のデザイン・製造を手掛けています。その他、各種包装資材の販売も含め、送り手の想いととも商品に合わせ、安全で確実に、また魅力的に「包み、届ける」ためのパッケージ製品を、デザイン・製造・

販売しています。

104年の歴史の中で、技術革新と時代のニーズに沿って最新鋭の製函システムをタイムリーに導入し、高品質な製品を供給しています。2005年には、国際的品質管理認証のISO9001・14001を取得。2018年には、森林の多様性を守りながら適切に生産した製品を製造・流通させる企業に認められる、森林認証を取得しました。

時代の進化に合わせて製造体制の整備を進め 高度なパッケージソリューションを提供する100年企業

段ボールって身近な存在ですね

日本で段ボールの製造が始まったのは1909年、エス・パックスが創業する10年前のことです。当社は、日本の段ボール市場の進化を100年つぶさに見続けてきました。

すべての業界を支える物流の世界では、段ボールや印刷紙器、包装資材などのパッケージ製品が必ず必要になります。コロナ禍はあらゆる産業に大きな打撃をもたらしましたが、ステイホームでネット注文の機会が増えたため、パッケージ業界では売上が大きく下がることはありませんでした。アフターコロナでも流通の主流は通信販売で、パッケージ製品のニーズは増え続けています。

100年前から、段ボールの基本的な作り方は変わっていません。環境問題が注目されるずっと前から、使用済み段ボールの約96%は古紙として

リサイクルされています。こうした環境負荷の低さや使い勝手の良さ、物流ニーズの拡大などから考えても、パッケージ製品は今後ますます必要とされ続けます。こうしたニーズの高さが一番の強みです。

どんな風に仕事を進めるのですか

営業の仕事は、お客さまのご要望を細かにヒアリングすることから始まります。「何をどれだけ入れるのか」、「どんな形状にしたいのか」。簡単につぶれるような箱では話にならないので、商品の重さや形状を考慮しながら素材を決めます。段ボールは紙質や層の数で強度が増すので、ヒアリングで得た情報を踏まえ、社内のデザイナーや形状設計スタッフとの打ち合わせを重ねます。

「お客さまのイメージに合っているか」「目につ



●デザイナーや他部署との打合せは念入りに行います。



●誰もが知っている企業さんの段ボールもエス・パックスさんが製造していました！



●製造している製品をショールームに展示しています。



くデザインか」「箱詰めのおペレーションに無理はないか」など、お客さまのご要望をパッケージという形にするため、仲間で知恵を絞ります。何度もすり合わせ、見本を作ってお客さまに確認していただきながら製品を作り上げる。完成して無事に納品できた時の手ごたえは格別です。

いろんな用途がありそうですね

一次産業が盛んな鹿児島・宮崎では、農繁期の10月から4月に段ボール需要が高まり、取引先のJAや一般農家、農業法人へ足を運ぶ頻度が増えます。沖縄では、観光客がピークの夏が繁忙期。地域によって繁忙期って違うんですね。

近年注目されているのが、災害時に避難所などで使う「段ボールベッド」です。2016年の熊本地震の際は、300床の段ボールベッドを被災地に届けました。現在は南日本段ボール工業組合の一員として鹿児島県と災害協定を結び、災害発生時に自治体から要請があれば、72時間以内に段ボールベッドを供給する体制を確立しています。

取扱製品が多種多様で、各地の商品展示イベントにも積極的に参加しているので、3年ほど前から公式サイト以外にSNSでも情報発信を始めました。段ボールベッドなど、特徴ある製品はテレビの情報番組で紹介されることもあり、番組を見た愛知県の方から購入希望の問い合わせもありました。

老舗って働きにくくはないですか

むしろ、長く安心して働き続けられる安定した企業であることを、歴史が証明しています。当社は創業104年の老舗企業ですが、堅苦しい雰囲気はなく、風通しの良い社風です。近年は有給休暇の取得を積極的に推進し、ワークライフバランスを実現可能な働きやすい職場に進化しました。これからも、地域とともに、お客さまとともに、パッケージソリューション提供企業として、次の100年に向けて着実に歩む。それが私たちのめざすところです。



〈担当から学生へのコメント〉

弊社はBtoBの業態であるため、一般の方にはなかなか地名度が低く、皆さんご存じではないかもしれません。104年の業歴が示す通り地域経済を支える一部となっており、弊社以外にも鹿児島には多くの地域経済を支えている魅力的な企業があります。知名度が高い企業だけではなく、色々な企業に興味を持ってもらいたいと思います。

管理部 課長 橋口 涼三



～ 取材後の感想 ～



鹿児島大学

名人



鹿児島国際大学
ありむら



鹿児島国際大学
かんめら

特に驚いたことは工場の設備の凄さでした！またダンボールでも各品物に合わせてそれぞれ設計からやっていることに驚きと本当に誇りを持って仕事をやっているのだと感じました！取材させていただきありがとうございました！

ダンボールを商材とし100年以上の長い歴史をもつ企業様でした。これから先もダンボールを取り扱っていきたくと力強く語る社員の方々が素敵でした。

昔からダンボール製造に携わっている会社で地域の繋がりを大切にしていると仰っていたことが印象的でした。